

■ 会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010(平成22)年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

■ グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区三栄町29
- 丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル11階

■ 役員

代表取締役社長	中川 清貴	取締役 監査等委員(社外)	栗林 忠道
専務取締役	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
取締役	石井 昭	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	工藤 恭孝	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	杉本 尚彦		
取締役	橋本 博文		
取締役	五味 英隆		

今後のIRカレンダー 2017年

6月 中旬	▶	7月 31日	▶	9月 中旬	▶▶▶	9月下旬~ 10月上旬
⋮		⋮		⋮		⋮
第8期 第1四半期 決算発表		中間日 (株主権利 確定日)		第8期 第2四半期 決算発表		株主様向け 「ビジネスレポート」 を発送

決算情報の詳細は
当社ホームページを
ご覧ください。

丸善CHI 検索

<http://www.maruzen-chi.co.jp>

この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

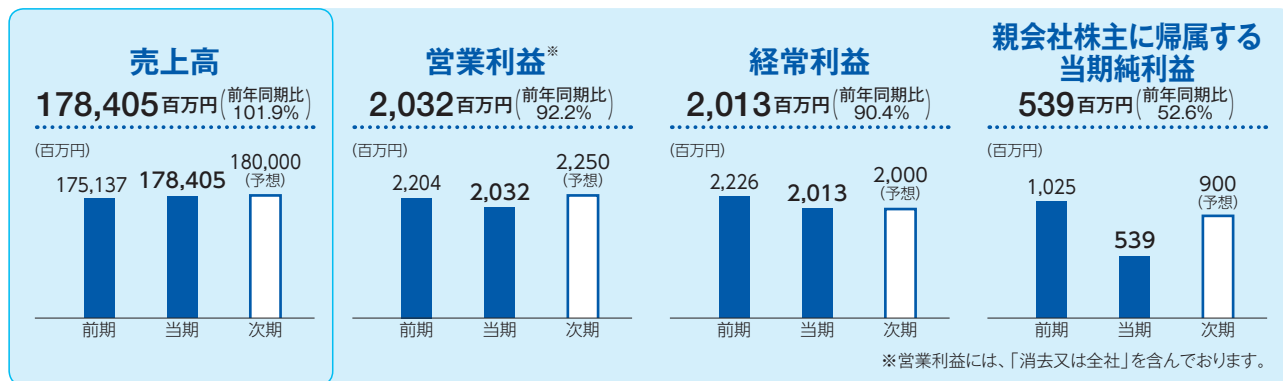


知

BUSINESS REPORT 株主・投資家の皆さまへ

第7期 2016.2.1 - 2017.1.31

■ 連結業績サマリー



売上高構成比

文教市場販売事業 34.2%

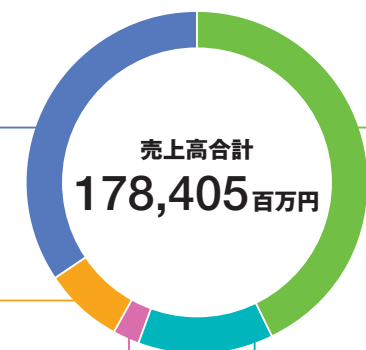
売上高 61,055百万円 (前年同期比 102.5%)
営業利益 2,994百万円 (前年同期比 165.6%)

●公共図書館向け書籍販売が順調に推移し、また、教育・研究施設、図書館などの設計・施工において学部新設によるキャンパス棟や図書館新設及びリニューアル等に伴う大型案件の受注が増加した結果、売上高は610億55百万円 (前年同期比2.5%増)と増収となりました。増収効果に加え販管費の減少もあり、営業利益は29億94百万円 (前年同期比65.6%増)と増益となりました。

その他事業 7.7%

売上高 13,698百万円 (前年同期比 90.6%)
営業利益 518百万円 (前年同期比 68.6%)

●Apple製品やパソコンの修理・アップグレード設定等の事業と店舗内装業が減収した結果、売上高は136億98百万円 (前年同期比9.4%減)と減収となり、営業利益は5億18百万円 (前年同期比31.4%減)と減益となりました。



店舖・ネット販売事業 42.8%

売上高 76,382百万円 (前年同期比 101.5%)
営業利益 △978百万円 (前年同期比 →)

●フランチャイズ店等への卸売上が増加したことで、売上高は763億82百万円 (前年同期比1.5%増)と増収となりました。しかし前年からの新規開店による費用の増加や退職給付債務の算定方法を簡便法から原則法へ変更した影響等もあり販管費が増加し、9億78百万円 (前年同期3億35百万円の営業損失)の営業損失となりました。

図書館サポート事業 12.8%

売上高 22,801百万円 (前年同期比 110.3%)
営業利益 1,935百万円 (前年同期比 91.1%)

●図書館受託館数は期初1,091館から115館増加し、平成29年1月末時点では1,206館 (公共図書館499館、大学図書館177館、学校図書館他530館)となり順調に推移しております。その結果、当事業の売上高は228億1百万円 (前年同期比10.3%増)と増収となりましたが、他社との競争激化による粗利率低下や人件費の上昇等により原価及び販管費が増加したため、営業利益は19億35百万円 (前年同期比8.9%減)と減益となりました。

出版事業 2.5%

売上高 4,467百万円 (前年同期比 97.7%)
営業利益 160百万円 (前年同期比 49.2%)

●専門分野として『理科年表 平成29年』『イラストレイテッドハーパー生化学 原書30版』、児童書として『宮沢賢治童話全集』『ほねほねザウルスシリーズ』『ルルとララシリーズ』など、合計新刊297点 (前年300点)を刊行いたしました。映像メディア商品の取引減少及び大型新刊の刊行期が後ズレしたこと等の影響により、売上高は44億67百万円 (前年同期比2.3%減)と減収となり、加えて棚卸評価損の積み増し等原価が増加したため、営業利益は1億60百万円 (前年同期比50.8%減)と減益となりました。

■ ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社グループの平成29年1月期業績は、売上高につきましては、文教市場販売事業、図書館サポート事業が順調に推移し1,784億5百万円 (前年同期比1.9%増)となりましたが、厳しい市場環境から店舗・ネット販売事業で赤字幅が拡大したこと、またそれに伴い同事業において減損損失を計上したことや、その他一過性の費用計上等があったことから営業利益20億32百万円 (同7.8%減)、経常利益20億13百万円 (同9.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億39百万円 (同47.4%減)となり、遺憾ながら増収減益となりました。

弊社グループの安定的な収益体質構築には、まず第一に店舗・ネット販売事業において、厳しい市場環境の中でも確実に利益を上げられる構造改革が不可欠であると考えます。そのため、これまでの大型専門店としてのノウハウやブランド力に加え、客層・地域性に基づいた売場作りや複合化で来店頻度や滞在時間を高め、大型専門店としての魅力と価値をさらに引き出す施策を進めます。また、親会社である大日本印刷株式会社との協働により、電子書籍販売サイト「honto」との連携サービスの充実、業務効率化のためのシステム強化、自社流通倉庫を活用した物流改善と品揃えの充実に注力します。

文教市場販売事業では、大学や公共図書館等に対し、紙と電子の両方のコンテンツの購入や貸出を統合的に扱えるハイブリッド型のプラットフォームシステムや、研究や教育、地域文化の向上に資するため、貴重資料の電子化や、電子化された各種データベース商品、電子教材の開発に注力してまいります。さらに、図書館サポート事業では、大学や地域から求められる多様なサービスへの対応や、複合施設運営に関わる専門性の向上のために、人材の確保・育成、地域に密着した拠点の強化を進めてまいります。

これらの取り組みをはじめとし、当社グループでは、コンテンツの流通形態が多様化する中でも、一人一人の生活者が、書籍・雑誌を通じより多くの学びや発見を得られるための仕組みや環境作りを行い、書店運営や、図書館・教育機関へのご支援を通じ、これからの我が国の知の生成と流通の発展に一層貢献できるよう努めてまいります。

株主の皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



丸善CHIホールディングス株式会社
代表取締役社長

中川 清貴

「本のまち明石」にあかし市民図書館と ジュンク堂書店 明石店がオープン



新図書館は開館から30日で
来館者数10万人を達成

2017年1月27日、(株)図書館流通センターが指定管理者として運営するあかし市民図書館が移転・リニューアルオープンしました。明石駅前再開発で南口に新しく建築された複合施設「パピオスあかし」には、あかし市民図書館(4階)のほかに、こども図書館、あかし子育て支援センター・一時保育ルーム(いずれも5階)、あかし総合窓口(明石市の行政窓口)・こども健康センター(いずれも6階)が設置されています。あかし市民図書館は「本のまち明石」の活動拠点として、こども図書館、同日オープンしたジュンク堂書店 明石店(2階)と連携し、学校や地域に本があふれるまちを目指しています。

明石におけるジュンク堂書店は、2013年9月にビルの再開発により一時閉店して以来3年4ヶ月ぶりの復活です。売り場面積は約430坪、文庫・コミック・実用書などの一般書や雑誌はもちろん、ジュンク堂書店の強みである専門書も豊富に取り揃え、またナガサワ文具センターによる文具売場も併設。毎日大勢のお客様で賑わっています。

本年4月より、あかし市民図書館とジュンク堂書店 明石店が連携することにより、図書館の蔵書と書店の在庫を相互に検索できるようになりました。また8月には図書館と書店が共催で、2階のイベントフロアにて絵本作家の読み聞かせワークショップの開催を予定しています。今後もあかし市民図書館とジュンク堂書店 明石店では、丸善CHIグループのシナジー効果が発揮できる取り組みを推進していく予定です。



丸善雄松堂「本のある場づくり: BooQ®(ブック)」で新しい価値を提案

丸善雄松堂(株)では、2016年より新たな事業として、「本のある場づくり: BooQ®(ブック)」を展開しております。書籍の選定・空間デザイン・運営支援など、永年、知の提供に努める当社のノウハウを最大限に活かした場づくりにより、場に集う多様な人が、互いの知識や経験を共有し、新しい価値を生み出すことを目指しております。

大日本印刷(株)の生活者向け体験型施設「DNPプラザ」や、日本橋の歴史を感じさせる建物の地下に広がる会員制ビジネスラウンジ「TOKYO309」、東京駅の大丸東京店が手がける初の複合型生活提案フロア「Lib Tokyo」をはじめ、これまでとは違う事業フィールドへの「本のある場づくり」の展開により、新たな事業機会・領域の創出や拡大、そしてグループのプレゼンス向上に努めてまいります。



大日本印刷(株)「DNPプラザ」



ビジネスラウンジ「TOKYO309」



大丸東京店「Lib Tokyo」

「図書館を使った調べる学習コンクール®」が20周年をむかえました

(株)図書館流通センターが協賛する「図書館を使った調べる学習コンクール®」第20回表彰式が2月25日に上野精養軒で行われました。7万7,453作品の中から30作品が各賞を受賞しました。作品「美術館展示と陰翳礼讃論~ろうそくの明かりと美術館展示の可能性を考える~」で文部科学大臣賞を受賞した女子美術大学付属高等学校2年生の広瀬由子



さんが受賞者としてあいさつし、「日本画は作品が描かれた当時となるべく同じ照明環境で鑑賞するべきでは」と考え、レポートにまとめたこと、海外の美術館でも意見が聞きたいと考え、文部科学省の奨学金によりポストン美術館で学芸員と話し、さまざまな国籍の人にアンケート調査を行ったことなどを語りました。

文部科学省が定める「総合的な学習の時間」では、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てることなどが求められています。20周年の節目を経て「図書館を使った調べる学習コンクール®」は自ら学ぶ子どもたちをこれからも支援し続けてまいります。

■ 連結財務データ

■ 財政状態 (単位: 百万円)

	当期末 (2017年1月31日現在)	前期末 (2016年1月31日現在)
総資産	131,993	134,651
●流動資産	98,932	99,170
●固定資産	32,940	35,399
(有形固定資産)	19,552	21,075
(無形固定資産)	1,274	1,505
(投資その他の資産)	12,113	12,817
●繰延資産	120	81
負債	96,536	99,502
●流動負債	67,465	77,101
●固定負債	29,070	22,401
純資産	35,456	35,148
●株主資本	34,784	34,324
●その他の包括利益累計額	△567	△336
●非支配株主持分	1,239	1,160

■ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当期 (2016年2月1日から 2017年1月31日まで)	前期 (2015年2月1日から 2016年1月31日まで)
●売上高	178,405	175,137
●営業利益	2,032	2,204
●経常利益	2,013	2,226
●親会社株主に帰属する当期純利益	539	1,025

■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当期 (2016年2月1日から 2017年1月31日まで)	前期 (2015年2月1日から 2016年1月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	2,331	865
●投資活動によるキャッシュ・フロー	1,453	△2,635
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,973	3,549
●現金及び現金同等物の増減額	812	1,779
●現金及び現金同等物の期首残高	20,201	18,421
●新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	18	0
●現金及び現金同等物の期末残高	21,032	20,201

■ グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



■ 株式情報 (2017年1月31日現在)

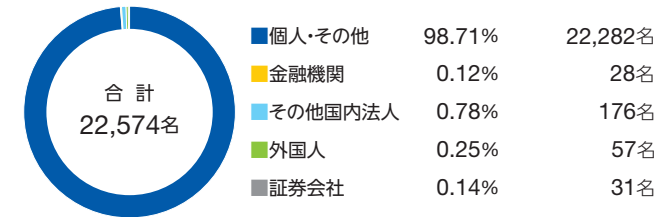
■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	92,554,085株
株主数	22,574名

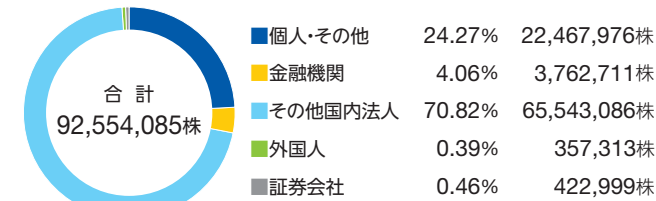
■ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大日本印刷株式会社	49,028,336	52.97
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	3,225,880	3.48
株式会社小学館	2,203,500	2.38
石井 昭	2,020,426	2.18
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,984,885	2.14
新田 久子	1,170,540	1.26
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99

■ 所有者別株主分布状況



■ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己名義株式4,112株を含んでおります。

■ 株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

■ 株式事務の取扱場所

株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	〒168-0063
同事務取扱場所	東京都杉並区和泉2-8-4
[郵便物送付先]	三井住友信託銀行株式会社証券代行部
[電話照会先]	電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ 単元未満株式の買取制度とは？

市場で売買できない100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

